

会員会社紹介

東芝テック株式会社

プリンティング・ソリューション事業本部
技術統括部 ソリューション第二技術部
鈴木 修一



東芝テック株式会社（以下 東芝テック）は、1950年に静岡県伊豆半島の犬伏で創業。国内初の金銭登録機（レジスタ）開発を皮切りに、「TEC」ブランドの流通小売業向け機器の開発、製造、販売を行い、縦型定置式スキャナ、音声チップ搭載スキャナ、サーマルプリンタ搭載POS、オブジェクト認識スキャナなど、世界初となる製品を世に送り出してきました。株式会社 東芝より1994年にはファクシミリとレーザープリンタ事業の移管、1999年には複写機事業の移管を受け、MFP（複合機）が主力製品として加わってからも、「消せるトナー」を用いた世界初のペーパーリユースシステム「Loops」の開発など、柔軟な発想からのモノ創りを行っています。

情報通信分野の取り組みでは、プリンティング・ソリューションにおいてはMFP（複合機）を中心に、高品質なコピー・スキャン・プリントなどの基本機能を提供するとともに、お客様のIT環境の進化、働き方改革のニーズに応える業務ワークフローソリューション、クラウドサービス連携などの情報通信技術を活用したビジネス環境を提供し、リテール・ソリューションにおいてはPOSシステムを中心に、専門店・量販店・飲食店・ショッピングセンターなど、幅広い業種・業態のニーズを見極め最適なソリューションを提供しています。

標準化活動としては、TTCのマルチメディア応用専門委員会のメディア符号化・通信SWGにおいて、2010年以降改訂されておりませんでした国内標準JT-T.38の改版作業に携わり、2018年の第7版の発行に貢献することができました。本改版が今後のT.38相互接続試験活動の原点となるものと期待しています。

東芝テックとしても本改版に準拠するIP-FAXを搭

載したMFP（複合機）を製品化しました。

通信分野においては、デジタル化・ITの進化に伴う先進技術を生かした製品の提供に取り組んでいきます。また、今後さらに高度化する個人情報や機密事項のセキュリティの強化にも取り組み、安心してご利用いただける魅力的な製品の提供を行っていきたいと考えています。

通信＝“つながる”という観点から、メーカーや機種を選ばない互換性を確保していくため標準化活動及び相互接続性試験活動は非常に重要と感じています。

今後とも標準化に関わるTTCの活動に参画し、新しい規格・標準の検討に貢献していければと思います。

